

活動名 第4回(財)日本ダウン症協会中国ブロック大会 in広島～夢みるチカラ2011～	団体名 (財)日本ダウン症協会広島支部 えんぜるふいっしゅ 地域 広島県広島市 代表者 会長 廣瀬 祥子 支援金額 20万円
活動概要 <p>(財)日本ダウン症協会 第4回中国ブロック大会として開催しました。ダウン症候群の子どもを持つ家族が、広島に集まり、交流を深め、情報交換をしました。</p> <p>大会開会式、基調講演、分科会、懇親会を行いました。ダウン症の本人たち、兄弟姉妹たちはボランティアの方と、お好み焼き体験、スポーツ、アート活動、ヘルマンハーブの体験会を楽しみました。</p> <p>以前、マツダ財団様に支援していただいた「職場体験実習」の活動報告も他県の方にお伝えすることができました。</p> <p>◆実施時期 平成23年7月16日(土)～7月17日(日) 広島ガーデンパレス 広島市心身障害者福祉センター</p> <p>◆参加人数 参加家族107のうちダウン症本人80名 ボランティア延べ42名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 248名</p>	



中国ブロック大会・開会式



ヘルマンハーブ体験会



本人活動・トランポピクス



職場体験実習報告会

◆実施に伴う効果

- ・たくさんボランティアの方にご協力いただきました。ダウン症の本人との活動は初めてだったが、楽しかった、また参加したいという声をたくさん聞きました。
- ・大会参加にされた方々で、えんぜるふいっしゅの正会員、賛助会員に入会してくださり、嬉しいことでした。(他県)
- ・職場体験実習の報告会が好評でした。他県の参加者が参考にしたいと感想を述べられました。

◆苦勞した点

- ・ボランティアの確保…開催日数日前までに、必要人数が集まらず、いろいろなところにお願いしました。確実に決まるまでボランティア担当はやきもきしました。
- ・参加人数について…会場の予約の手違いで、大きな部屋が借りられず、参加者をお断りするようになったのが、残念でした。会員以外の方にも、もっと多く参加できるようにしたかったので、確認作業の徹底が必要でした。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・ボランティアとして、多くの方が大会参加してくださり、ダウン症の本人と共に時間を過ごしてもらえたのですが、講演会、懇親会などにも、一般の方が参加しやすいように、会場設定やPRなど工夫が必要だと思いました。
- ・今回の大会を通じて、新しい人脈を得ることができました。そこから、新しい活動に発展していくのでは…と期待しています。

◆活動を終えての感想・意見等

参加して下さった多くの方が、えんぜるふいっしゅは、多くの方からの支援、助成、を受けられているんですね、と感心されていました。私たちの活動にご支援いただき、本当にありがとうございました。

始めはどうなることか…と心配ばかりでしたが、当日のダウン症の子どもたちや保護者の皆さんの笑顔に助けられ、無事に大会の全プログラムを終了することができました。